

ご自由にお持ち帰りください



公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

NEWSaka

2016.8
No.10

発行責任者：坂総合病院院長 内藤 孝



塩釜みなと祭 よしこの塩竈おどり



- 1 塩釜みなと祭 よしこの塩竈おどり
- 2 よしこの塩竈おどり (7/18)
- 3 国民平和大行進 (6/22～23)
- 4 認知症看護認定看護師紹介 (阿部育実)、慰霊祭 (7/21)
- 5 市民公開講演会 (6/18)
- 6 シリーズ さまざまなりハビリテーション、職場紹介 (薬局)
- 7 外来診療ご案内
- 8 インフォメーションなど

病院理念

わたしたちは、患者さまの権利を尊重し、
共感・協同・平等・安全の
医療をめざします。





力強いケアSTしおかぜの踊り

塩釜みなと祭・よしこの塩竈踊り

「みやぎ東部健康福祉友の会」7回連続参加 元気いっぱい楽しく踊る！

組織課課長 木伏 佳子

暑い〜まぶしい〜にも負けず、おいにアピール！

戦後復興を目的に1948年から始まった塩釜市の伝統行事「塩釜みなと祭」も今年で69回目。

当日の7月18日（月）は週間天気予報では曇り時々雨でしたので「やったア〜今年は踊りやすい天気だぞ〜」と期待していましたが、なんと当日は朝から晴天で暑い。

「よしこの塩竈踊り」コンテストは14時に小学校の部からスタート。待機中に会場周辺で救急車の音が幾度も聞こえてきます。15時、いよいよ私達の出番です。まぶしい限りのお日様と気温は最高点。



友の会、踊りスタート

「みやぎ東部健康福祉友の会」も7年連続で約23名（職員12名）が参加し、市内の小中学校、一般団体と共に、職員は友の会のショッキングピンクのはっぴを着て出発。ちょうど審査員席前で、『救急車が通るので道半分空けてください』と言われアピールが半減しましたが、表坂まで8クール以上、とにかく楽しく元気いっぱい踊りアピールしました。

沿道からたくさんの声援が

今年は16時30分から東京デイズニーのパレードがあるので、沿道は身動きとれない程の観客。「みやぎ東部健康福祉友の会は旧坂総合病院友の会です」のアナウンスの説明にも関わらず、観客から直接「どこの



陽射しがすごい

団体？」と聞かれました。友の会の会員さんはもちろん、「友の会頑張れ!」「坂病院ガンバレ!」と手を振っての

たくさんの声援がありました。水をかけてくれた方もいました。おかげで暑さにもめげず、最後まで踊る事ができました。

私たちの後方には華麗な踊りの「ケアステーションしおかぜ」も参加し昨年に続き3位入賞！そのパフォーマンスに納得です。

若手職員大奮闘！

今年も特に奮闘したのは、初参加新人含む若手事務職員。短時間の練習でも、その若いエネルギーを存分に発揮してくれました。「暑い中での参加となりましたが、若手職員として精一杯踊る事が出来ました。こうした地域行事への参加を通して、友の会をより多くの方に知ってもらえしたいと思います。来年も楽しみにしています。」との感想が寄せられました。

来年はもっと多くの参加者を



若手職員大奮闘

今年は、昨年よりも少人数で寂しい限りでしたが、地域に根ざした友の会として幅を広げられる年間行事の

1つとしても、来年はもっと多くの職員参加者で「みやぎ東部健康福祉友の会」をアピールできればいいなと思いました。



大変お疲れ様でした



ノーマ・ヒロシマ・ナガサキ

「2016年原水爆禁止国民平和進行」

核兵器のない平和で公正な世界のためにみんなの一步が世界を変える！

非核と9条輝く日本を！

8月の広島・長崎の「原水爆禁止世界大会」成功に向けて、今年で59回目となる「原水爆禁止国民平和進行」が5月8日に北海道の礼文島を出発し、6月19日に宮城県に入りました。

今年も、6月22日（松島コース）と23日（塩釜～多賀城コース）の2日間で延べ約200人（坂病院グループ約40人）が平和進行に参加しました。

沿道からは多くの声援が

1日目の午後は松島コース（松島町役場～松島海岸駅近くの天麟院）。15時に松島町役場前で出発集会。

雨模様の曇り空の中での集会でした。役場職員のみなさんも30人以上が参加し、熊谷清一副町長さんから核廃絶への力強い連帯のあいさつをいただきました。



通し進行者と坂病院の参加者（松島町役場前）

また、今回北海道から東京まで通し進行参加で今日が44日目となる木伏研一さん（多賀城市在住・友の会会員）がこれまでの通し進行の状況報告、さらには宮城～福島通し進行のゲレーロ・サニョさん（フィリピン人・壁画アーティスト）からあいさがありました。

そして「なくそう！核兵器」「非核と9条輝く日本を！」「原発は廃止を！」と呼びかけながら元気に行進しました。

沿道からは地域の方や観光客が手を振ったり、多くの声援がありました。

この日の夜は坂総合クリニック8階会議室で通し進行者の慰労も兼ねて「歓迎と交流のつどい」が催され約80名が参加し、大変盛り上がりしました。

どしゃぶりの雨にも負けず…、お茶の差し入れに「ほっと一息」

2日目は塩釜～多賀城コース（塩釜千賀の浦緑地公園～多賀城市役所前公園）。どしゃぶりの雨の中、



連帯のあいさつをする
伊藤恵事務部長

9時からの出発集会前に会場では、「平和のうた」をみんなて歌いました。塩釜市長さんと利府町長さんから連帯のメッセージをいただきました。坂病院からは伊藤恵事務部長が病院の取り組みを紹介し連帯のあいさつをしました。

気温があまりあがらない雨の中という悪コンディションでの行進でしたが、途中、坂病院玄関前でお茶のペットボトルの差し入れがあり、「ほっと一息」。水分補給しながら45号線をひたすら多賀城市役所前公園へと1時間半の行進でした。終結集会では、多賀城市長さんから連帯のメッセージをいただきました。



病院からのお茶の差し入れに「ほっと一息」

核廃絶と原発ゼロ、そして憲法9条守らせる訴えが

今回は、行進出発・終結集会での各団体からの連帯あいさつでは、核廃絶とともに、原発の再稼働を絶対許さず、再生可能な自然エネルギーへの転換を訴える発言とともに、日本の平和を脅かす憲法9条を壊し戦争のできる国づくりを進める安倍政権の暴走ストップへの訴えが多くありました。



多賀城市役所前での終結集会



だれもが笑顔で暮らせる ためのお手伝い

認知症看護認定看護師
阿部 育実

「実践」「指導」「相談」

認知症看護認定看護師の役割には、専門的知識やスキルをもとにした「認知症看護の実践」、その看護実践を通して看護職に対して行う「指導」、そして看護職からの「相談を受ける」という3つの領域があります。

認知症の方はそのほとんどが高齢者で、認知症の進行に伴い要介護状態になって行くことが避けられず、また周辺症状のため介護困難に陥る場合もあり、「家族支援」の視点も外せません。認知症看護は、患者さんの入院中の治療や療養への援助だけでなく、退院後の生活も含めてその方の全体像を見ていく広い視野が求められる分野だと言えます。

当院では、ちょうど私が認定看護師の資格を取った年に「もの忘れ外来」が開設され、以来9年間認

知症診療を行って来ました。私自身も病棟での看護業務の傍ら、毎週1回「もの忘れ外来」で認知症の方やご家族に関わる中で、病棟にいただけでは知り得なかった看護実践を学んで来ました。また友の会活動などを通して、地域住民の方々への啓蒙活動にも携われる機会をいただいています。

認知症疾患医療センター開設

昨年8月には、坂総合クリニックに認知症疾患医療センターが開設され、現在は、自治体や地域包括支援センターとの連携、そして認知症初期集中支援チームの一員として新たな活動にも携わっています。はじめに紹介した認定看護師の3つの役割だけでなく、様々な領域で認知症看護認定看護師が地域で果たすべき役割の大きさを実感しています。

公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院

慰 霊 祭

「慰霊祭」執り行う

7月21日（木）の午後（14時～14時30分）、病院セミナー室において、約150名の職員が参列し、病院管理部主催で「慰霊祭」が執り行われました。

2015年4月から2016年3月までに、当院に入院されお亡くなりになった患者様で、なおかつ、死亡原因究明のためにご遺族のご了解の下で剖検にご協力いただいた患者様の御霊の慰霊を目的としての「慰霊祭」です。昨年に引き続き4回目でした。

はじめに、参列者全員で1分間の黙祷を捧げました。

次に、病院を代表して、内藤孝院長が「慰霊のこぼ」を読み上げました。そして、参列者全員による献花（カーネーション）が行われました。

亡くなられた患者様に謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

献花台

黙 祷

「慰霊のこぼ」を読み上げる内藤院長

献 花

東松島市で初開催の来場者は総勢43名にもなりました。

冒頭、内藤孝院長があいさつし、初めて東松島での講演会をさせていただくこと、医療に大変関心がある皆さんが多数いる地域だと感じたこと、坂総合病院は地域の医療機関の先生方や友の会の皆さんとともに地域に根ざした医療活動を行なっていることなどを報告し、このような学習企画を今後も開催したいと述べました。



◇テーマ：「知って得する食事のはなし」

◇講 師：鈴木 亜紀 管理栄養士

鈴木亜紀管理栄養士が標記テーマで免疫力を高めるための食生活についてお話ししました。

抵抗力、病気を防ぐ力を食生活に注意して高めることが大事なこと。加齢とともに落ちてくる免疫力、夏場は特に免疫力が

下がってしまうことなども説明し、腸内環境を整える発酵食品や粘膜を強くするねばねば成分、5大栄養素をバランスよく食べること、切り干し大根などの乾物類には抗酸化成分が豊富に含まれていることなど身近な食材の紹介もしました。

◇テーマ：「がん治療について」

◇講 師：盛口 佳宏 医師（外科医長）

続いて盛口佳宏外医師が標記テーマで講演。主な死因の推移や検診の受診数などデータを示し、がんの基礎情報、よく耳にするステージⅢとかステージⅣなど病期分類や手術療法や化学療法、放射線治療、緩和療法など分かりやすく説明しました。

がん告白した有名人数名を紹介し、どのタイプでどんな治療選択をしたのか説明し、本人、家族のいろいろな決断を紹介しました。

『がん治療は、同じ病気であっても患者

さんによって違う治療を選択することがあります。患者さんに一番合う治療法を一緒に選ぶことが大切です。がん患者さんとご家族一人一人にとって最善の治療・療養提供が医療者側の努めです。坂総合病院では、多職種、複数の医療スタッフが連携してチームでがん治療に取り組み、がん患者さんの「最善」を検討する“がんよろず相談会議”（Cancer Treatment Board）を定期的に開催しています。がんで困ったことがありましたら坂病院にお声掛けください。』とお話しました。

市民の皆さんに、これからも坂総合病院を身近に感じていただけるような講演会の開催を計画していきたいと考えています。



熱心に聴講する参加者の皆さん



運転評価後のスタッフカンファレンス風景

平成25年に自動車運転支援チームが発足してから延べ83件程の脳血管疾患の方へ支援してきました。25年度13件、26年度22件、27年度には38件、今年度は既に10件と年々増加しており、自動車運転支援へのニーズの高さが伺えます。

運転の評価は院内での身体機能検査と神経心理検査、教習所での実車評価を行います。実車評価では、運転再開後を想定し、右片麻痺の方には旋回ノブや左側にウィンカー、アクセルペダルを取りつけて行なったりもします。チームでは評価結果を元に

カンファレンスを行ない、医師の判断を一助としています。

また、最近では新しいパンフレットの作成や支援した方の追跡調査も行なっており、今後の支援の充実に向けて日々取り組んでいます。



作業療法士 角 汐梨

職場紹介 「薬局」

副薬局長 小倉知恵美



薬局スタッフのみなさん

主な業務は入院患者様のお薬の調剤・渡薬

薬局は病院とクリニック合わせて薬剤師20名で業務を行なっています。主な業務は入院患者様のお薬の調剤・渡薬です。

患者様からは「調剤薬局の薬剤師さんが来てくれたの？」と勘違いされることがありますが、薬剤師は病院2階の中央薬局と各病棟の「サテライトファーマシー」と呼ばれる所に常駐しており、外来の化学療法室にも配置しています。

患者様が入院後、持参されたお薬手帳やお話しの内容からこれまで服用の薬剤情報や副作用歴・アレ

ルギー歴・服用状況等を収集し、入院中の薬物治療にスムーズに引き継げるよう支援します。

患者様がお薬管理を上手にできているか常にチェック

それから、病棟スタッフとのカンファレンスで患者様の治療上の問題点や退院に向けての注意事項を共有し、薬剤師の視点から提案できることを他職種と話し合います。また、患者様がお薬の管理を上手にできているか、お薬の量は適切か、入院後の投薬で飲み合わせの悪い薬はないか等、退院時まで常にチェックしています。飲み薬はもちろん、注射薬も患者様一人ひとりの体格や病状に合っているか確認しながら調剤しています。

お薬を飲んで良くなったと言っていただけることが頑張りの源

この他、専門知識を持った薬剤師が他職種とともにチームの一員となり患者様の栄養療法や感染対策、がん治療等を支援しています。お薬を飲むのが好きな患者様はあまりいらっしゃらないと思うので、私たちが関わらせていただくなかでお薬を飲んで良くなったと言っていただけることが頑張りの源です。お薬について疑問な点がございましたら、薬剤師(名札の水色のラインが目印です)にお気軽にお声掛けください。

坂総合病院（本院）

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	午前	○			○	○		
	午後					○		
神経内科	午後	○						
消化器科	午前	○	○	○	○	○		
リハビリテーション科	午前		○	○	○	○		
	午後	○						
末梢血管外来	午前	○	○					
甲状腺外来	午後		○診療日隔週					

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承願います。

総合病院 院長 内藤 孝 電話 022-365-5175 (代)

坂総合クリニック1号館

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
外 科	午前	○	○	○	○	○		
腎臓内科	午前			○				
整形外科	午前	○	○	○				
	午後	○		○				
泌尿器科	午前	○	○		○	○	○診療日隔週	
形成外科	午前	○		○			○診療日隔週	
	午後		○			○		
耳鼻咽喉科	午後	受付13:00～16:00		受付13:00～16:00			受付8:30～11:30	
産婦人科	午前	妊婦健診～11:30迄	妊婦健診～11:30迄	妊婦健診	妊婦健診	妊婦健診～11:30迄	○	
		○11:30迄	○11:30迄	○11:30迄	○	○		
	午後	○				妊婦健診		
精神神経科	午前	○	○	○	○	○	○診療日8/20	
	午後			○		○		
眼科※1	午前	○11時迄	○	○		○	○診療日隔週	
	午後		○診療日隔週	○	○			
皮膚科※2	午前		○			○	○診療日隔週	
	午後		○14:30～16:00			○14:30～16:00		
血液科	午後		○			○		
禁煙外来	午後			○診療日隔週				
＜各科外来受付時間＞		●午前 新患8:30～11:30 再来8:30～11:30		●午後		＜木曜日夜間外来＞ ●婦人科 受付時間 午後4:30～6:30 診察時間 午後5:00～7:00		8月の婦人科の 夜間外来は8/4と 8/18を予定してお ります。

※1 眼科の診療は医師体制上の都合により、予約以外の診察をお受け出来ない場合があります。ご了承願います。

※2 皮膚科の診療は医師体制上の都合により、予約外の方は緊急性のある方以外はお受けできません。ご了承願います。

坂総合クリニック2号館

※内科一般外来は午前のみの診療となります（午後は休診となります）。

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後							
糖尿病代謝科	午前	○	○	○	○	○	○診療日隔週	
	午後	○	○		夜間外来			
循環器科	午前	○	○	○	○		○月1回	
	午後		○		夜間外来（高血圧）	ペースメーカー外来 診療日隔週		
呼吸器科	午前	○		○		○	○月1回	
	午後	○	○	○		○		
緩和ケア科	午前		○		○			
漢方科	午前	○	△	△		○	○月2回	
	午後	○	△	△	△夜間外来	○		
高脂血症外来	午前			○				
心臓血管外科	午後			○		○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後	予防接種 受付13:30～14:30		育児検診				

●当院の外来は全面予約制ですので、来院前にお電話下さい。漢方は診療変更が多い日を△にしています。

電話番号：予約コールセンター 022-361-8288

電話予約受付時間：平日8:30（小児科のみ8:00から開始）～16:30、土曜日8:30（小児科のみ8:00から開始）～11:30

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承願います。8月16日(火)はお盆休診となります

坂総合クリニック 所長 小幡 篤 電話 022-361-7011(代)

健康予防住民セミナー

動脈硬化と足のいたみのはなし

～糖尿病、高血圧症、高脂血症、喫煙の危険因子はありませんか？～

2016

9/10^{sat}

10:00 ~ 11:30

利府コミュニティセンター
(JR利府駅内)

対象：健康に関心のある地域住民の方
ならどなたでもご参加できます。
近くに利府町営駐車場がありますが、
なるべく公共交通機関をご利用ください。

こんなことはありませんか？

- 血糖値が高い
- 手足が冷える
- 血圧が高い
- 階段をのぼるのがつらい

気になる方、
ぜひ
お越しください！

講師

末梢血管カテーテル医

佐々木伸也

参加料
無料
ご予約不要



内容

- ① 動脈硬化を予防する食事の工夫 (管理栄養士より)
- ② 下肢動脈硬化症の話 ～足の痛み、壊疽(えそ)を予防するための方法～
坂総合病院 循環器科 佐々木伸也医師

お問い合わせ 坂総合病院地域連携室 TEL 022-365-5175(代)

地域医療連携センターから

○紹介の状況

	紹介数	逆紹介数
2016年 3月	527	703
4月	606	742
5月	552	693
6月	656	806

(坂総合病院、クリニックの合計数です)

○ご紹介の際は、地域医療連携センターまでご連絡下さい。
※坂総合病院・坂総合クリニックは予約診療を行なっています。

お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせ下さい。
尚、緊急性の高い症状の場合や入院加療も含めての診療
ご依頼の場合は、お電話にてその旨をお知らせ下さい。

《開設時間》

● 平日 / 8時30分～17時 ● 土曜日 / 8時30分～12時30分

TEL 022-361-4700

※時間外休日は、救急処置室に繋がります。

コールセンターから

○診療の予約・変更・お問い合わせは、コールセンターで承ります。

TEL 022-361-8288

平 日 (月～金) : 8時30分～16時30分

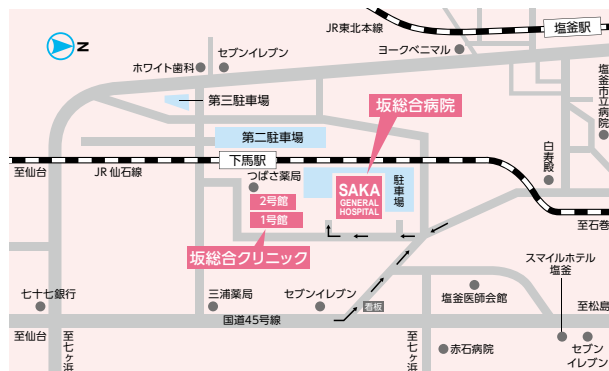
(小児科のみ8時から開始)

土曜日 : 8時30分～11時30分

(小児科のみ8時から開始)

※紹介状をお持ちの方は必ずその旨をお伝え下さい。

※上記時間以外で救急診療のお問い合わせは、病院
代表番号にお電話をお願いします。



● 電車をご利用の場合

JR仙石線・下馬駅下車 (駅前が病院です。)

● お車をご利用の場合

以前に比べて第一駐車場が狭くなりました。ご不便をお掛けしますが、第三駐車場に駐車し、送迎バスをご利用いただけるようご協力をお願いいたします。

編集後記

天候不順の日々、体調管理は大丈夫でしょうか。これからさらに、夏のお祭りなど諸行事が続いていきますが、とにかく何事も無理は禁物です。特に熱中症にはご用心を。

今号では、年中行事の1つとして、「塩竈みなと祭」の陸上パレード「よしこの塩竈踊り」も紹介しています。事前の天気予報では雨も予想されていましたが、当日は雲間から青空も覗く好天でした。しかし、猛暑で熱中症のため救急車の出動などもありました。他に、病院の様々な活動や職場紹介など、読者の方に坂病院をより知っていただけるような内容をできるだけ取り上げ掲載していきたいと思えます。(1)

公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5

電話 022-365-5175 (代表)

FAX 022-365-3620

<http://www.m-kousei.com/saka/>

